

図 OTC類似薬の保険給付範囲の見直し（試算一覧）

OTC類似薬に関する試算	日本総研 ¹		東京大学 ^{2,3}		健康保険組合連合会 ⁴	
	試算額	10,600億円	6,513億円 (成分一致) 3,278億円 (効能成分一致)	2,330億円	2,126億円	597億円
	試算年	2024	2023	2021	2019	2019
試算根拠	<ul style="list-style-type: none"> 医師の処方箋が必須となる医薬品以外の医療用医薬品（OTC類似薬）の薬剤費を算出 成分が同一のOTC医薬品が市販されていないものを含む最も広い定義 	<ul style="list-style-type: none"> OTC医薬品が存在する11疾患領域を対象として試算 その中で、医療用医薬品のうちOTC医薬品と成分や効能・成分が一致する品目の薬剤費を算出 	<ul style="list-style-type: none"> OTC医薬品が存在する11疾患領域を対象として試算 その中で「医療機関の受診が不要な疾患である人数」に「単一疾患のみを罹患しているレセプトの一件あたり医療費」を乗じて、潜在的な置き換え可能医療費を算出 	<ul style="list-style-type: none"> 市販薬が存在する医療用医薬品（OTC医薬品と同一成分のもの）の外来における薬剤費を対象として試算 市販薬によるセルフメディケーションへ誘導可能と考えられる部分（医療の必要性が低い疾患のみ） 	<ul style="list-style-type: none"> 花粉症患者に処方された花粉症治療薬（OTC医薬品と同一成分のもの）の薬剤費（2401億円）を対象として試算 その中で、OTC類似薬の薬剤費を算出 	

出典：1）『OTC類似薬はOTC医薬品に区分を』（日本総研、2024年11月28日）

2）『セルフメディケーション税制による医療適正化効果の評価基盤の作成についての研究』（厚生労働科学特別研究事業、令和5年5月）

3）『OTC医薬品の潜在的医療費削減効果』（第1回セルフメディケーション推進に関する有識者検討会資料2 五十嵐参考人提出資料、令和3年2月3日）

4）『次期診療報酬改定に向けた政策提言（政策立案に資するレセプト分析に関する調査研究結果Ⅳ）』（健康保険組合連合会、2019年8月23日）